

(7 -) 非鉄金属 (アルミ圧延)

19 / 18 20 / 19 伸び率10%以上 ● 伸び率0 ~ 10%
: 天気図マーク; ● 伸び率0 ~ 10% 伸び率 10%以下

1 . 企業経営動向

(1)需要

平成19年度の需要について、板類は、主力の缶材、印刷板を含む金属製品等が減少したが、自動車を含む輸送機械及び輸出の大幅な増加により、前年度比0.6%となった。また、押出類は、過半を占める建設向けが改正建築基準法施行に伴う建築確認遅れの影響を受け同 7.0%となった。箔については、コンデンサ向けが好調に推移するが、日用品向け及び食料品向けが減少となり、同 0.9%となった。アルミニウム圧延品全体では同 2.7%となった。

平成20年度の見通しとしては、板類は自動車、一般機械等の伸びが見込まれるが、缶材、自動車以外の輸送用機械等の減少から内需の微減が予想される。押出類は、改正建築基準法の影響が緩和され、建設向けの需要は底を打つが、ビルを中心に影響が残ることが予想され、全体としては微増になると予想される。また、箔については、19年度同様の傾向が予想され、全体としては横這いと予測される。アルミニウム圧延品全体では、同0.6%増となる見込み。

(2)生産・設備稼働

19年度における生産量について、板類は前年度比0.8%、押出類は同 7.1%、板類・押出類の合計では、同 2.6%となった。また、箔においては、同 1.2%と3年連続のマイナスとなった。

(3)企業収益

アルミ圧延主要企業の経営動向 (大手 6 社連結ベース) (単位 : 億円)

	平成18年度	平成19年度
売 上 高	20,222	20,573
営 業 利 益	1,146	847

平成19年度決算では、改正建築基準法施行の影響がでたが、自動車を含む輸送機械が好調に推移し、アルミ地金価格の上昇に伴う製品の売値の上昇もあり、売上高は増加した。

一方、営業利益は原油価格、副資材の高騰等により、減益となった。

2．設備投資動向（グラフ1参照）

アルミ圧延業の設備投資動向（単位：百万円、％）

	18-19共通回答企業		19-10共通回答企業		19/18	20/19
	18年度	19年度	19年度	20年度		
アルミ圧延	27,561	27,022	27,022	31,163	98.0	115.3

(1)これまでの設備投資の推移

19年度は、生産能力増強、更新・維持を目的とした投資を中心に設備投資が行われる見込み。前年度からの伸び率をみると、合理化・省力化（前年度比+194.2％）、更新維持（同+30.9％）が高い。

(2)平成20年度の設備投資計画

20年度も同様に生産能力増強、更新・維持を目的とした投資が中心行われ、また、今後は環境関連を目的とした投資を行う計画（対前年度比+12.0％）である。

3．長期資金調達・運用動向

20年度は、19年度に引き続き売上、営業利益が好調なことから、借入返済が進む見込みである。

（グラフ1：設備投資の前年度比の推移）

